

議会だより さん のへ



f Facebook



Twitter

第182号 (令和元年11月11日号)

P2 平成30年度 三戸町一般会計・特別会計決算

P6 一般質問

P14 議決一覧、議案審議

P15 第482回 臨時会報告

P16 委員会等人事、12月議会予定

公職選挙法の順守に関する決議

議会議員には「公正」「誠実」「清廉」を基本とした、高い政治倫理観が求められており、これに従って自らの使命の達成に努めなければならない。

しかしながら、先般行われた青森県議会議員選挙において、多数の当町議会議員が公職選挙法違反により処分を受けたことは、議会議員の倫理観から大きく逸脱しているだけでなく、町民の議会に対する信頼を著しく失墜させるものであり、厳しく戒めるべきである。

私たち三戸町議会議員は政治活動に関する法令を守り、いかなる違反行為も禁止することを徹底しなければならない。

三戸町議会は、二度とこのような不祥事を起こすことがないよう、改めて議員自ら襟を正し、公職選挙法を順守することをここに決意する。

以上、決議する。(令和元年8月9日議決)

町民、各種
団体の皆さま
へのお願い

政治家はごく一部の例外を除き、お招きいただく会合へ出席する際、ご祝儀をお渡しすることは公職選挙法違反となります。

飲食を伴う会合等へ議員をご招待いただく際には、案内文書等へ会費を明記していただきますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

平成30年度の全会計を 議会は認定しました。

平成30年度実施の主な事業

収入



ふるさと納税による寄付

1億7,556万円

支出



地域商社設立出資金

1,020万円

支出



子育てサポート祝金

196万円

支出



遠小橋橋梁補修工事請負日完成払金

2,883万円

支出



第12分団屯所新築工事請負費

2,049万円

支出



立志科教科書改訂委託料

483万円

決算概要

第483回定例会が、9月4日から13日にかけて開催されました。

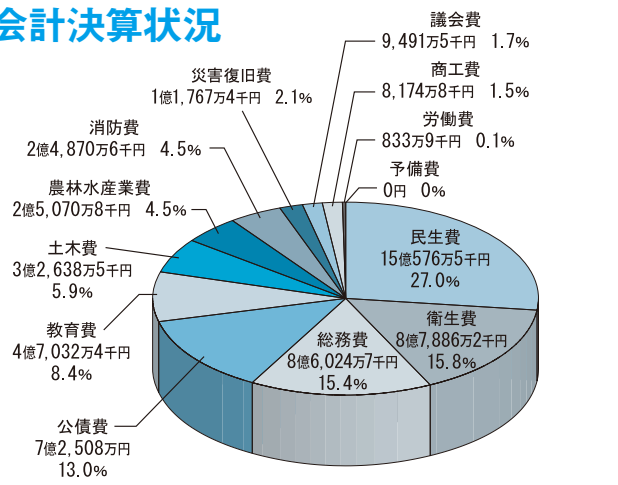
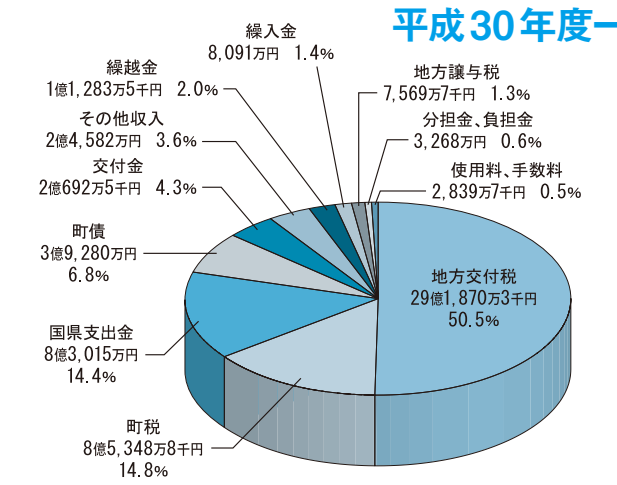
本定例会では決算特別委員会が設置され、平成30年度の一般会計など8つの町の会計について慎重に審議し、全件認定されました。

町の主な事業を行う一般会計決算額は、収入・支出ともに平成29年度に比べ2.9%の減となりました。

減収および支出減の主な要因は、平成29年度は中山間地域総合整備事業費や畜産・酪農収益力強化対策事業費補助金による普通建設事業費の支出が大きかったことなどによりです。

一方で、ふるさと納税の寄付金は1億7,556万円にのぼり、29年度に比べ62.2%の増となりました。

平成30年度一般会計決算状況



歳入
計 57億7,840万5千円

歳出
計 55億6,875万3千円

地方交付税	町を運営していくうえでの財源不足を補うために、国から交付されるお金
国県支出金	町が実施するさまざまな事業のために国や県から支出されるお金
町税	町民税、固定資産税等の税収
町債	町が国や金融機関等から借り入れるお金
交付金	地方消費税、自動車取得税等の収入から一定の割合で町に交付されるお金
繰越金	昨年度の会計からの繰り越したお金
その他収入	町の土地貸し付けや売却の収入等
地方譲与税	ガソリン税や自動車重量税等の国税から一定の割合で町に譲与されるお金
分担金、負担金	主に、保育所や児童館に入所している保護者が納める施設負担金
使用料、手数料	町の施設使用料や町営住宅入居料、戸籍発行手数料など

民生費	児童・老人・障がい者などの福祉事業経費
総務費	交通安全、絵本のまちづくり、税金の徴収、選挙等の経費
衛生費	予防接種や健診、ごみ収集の経費
公債費	町の借金返済のための経費
教育費	小中学校、給食センター、公民館等の運営経費
土木費	町道の維持等に係る経費
農林水産業費	米、果樹、畜産等の農業振興のほか、河川浄化などに係る経費
消防費	消防署負担金や消防団運営等の経費
議会費	町議会運営に係る経費
商工費	商工業者への支援や観光振興のための経費
災害復旧費	台風等の災害被害復旧のための経費

(単位：円)

その他の会計の決算	会計名		歳入	歳出	差引
	学校給食共同調理場		38,878,069	38,635,222	242,847
	簡易水道事業		57,441,443	55,714,957	1,726,486
	下水道事業		270,902,752	265,953,677	4,949,075
	後期高齢者医療		122,119,690	121,639,476	480,214
	介護保険		1,782,303,268	1,678,569,354	103,733,914
	国民健康保険		1,413,772,474	1,362,413,435	51,359,039
	三戸中央病院事業	収益的収支	1,640,222,497	1,672,476,187	-32,253,690
		資本的収支	188,314,000	305,688,042	-117,374,042

平成30年度 決算特別委員会 私たちはここを チェックしました!



主な質疑

一般会計

徴収できない町税の事情は?

Q 竹原義人委員

町税の不能欠損820万円の主な事情、理由は。

A 税務課長

地方税法で定める5年の時効、滞納処分停止から3年での時効、相続人不在などで明らかに徴収することができない即時の消滅などの対象者142人分。

免許返納者への補助を拡充しては?

Q 佐々木和志委員

運転免許返納者支援事業費補助金は、タクシードライバー1人に対して1万2000円の1年限りの補助だが、車を手放して生活するには少な過ぎる。2、3年の延長も考えているとのことだが、コミュニティバスの無料化や、シル

バーカー購入補助など制度の拡充ができないか。

A 総務課長

年をとると歩ける距離が短くなるというところもあり、補助を2年、3年で切ること疑問も出てくる。そうした中で、バスの無料化も考えていたが、今度はバス停までの移動手段という問題も出てくるので、今後の課題として全体的に考えていきたい。

ふるさと納税額は?

Q 久慈聡委員

ふるさと三戸応援基金積立金7600万円は、いくらの寄付額のうちの何%積み立てられたものなのか。



返礼品で人気の11ぴきのねこぬいぐるみ

A まちづくり推進課長

1億7644万の寄付総額から、特産品による返礼品の贈呈分6597万円、運営経費2267万円を差し引いて50%ほどが積立額となる。

地域商社への補助金の内訳は?



作成された三戸精品ブランドブック

Q 栗谷川柳子委員

地域商社運営費補助金600万円は、何名でどのような科目に使用したものなのか。

A まちづくり推進課長

主にウェブサイトの構築、ブランドブックの製作費に408万円、2名分人件費に168万円、残りが事務に係る雑費。

健診未受診乳幼児等のチェックは?

Q 高森正義委員

乳幼児や新生児の健診を委託しているが、長く健診を受けていない、予防接種を受けていない子どもがいないかのチェック体制はあるか。

A 健康推進課長

健診を受けていない子どもは今のところないが、もしあった場合は、電話連絡、家庭訪問等行い対応する。

医師確保事業とは?

Q 竹原義人委員

医師確保のための事業というのはさまざまあるが、医師確保事業負担金はどのような事業なのか。

A 健康推進課長

この負担金は弘前大学の医学生に修学資金を貸与し、卒業後一定期間、県内の自治体医療機関、自治体病院等に勤務すれば免除される、青森県人材の進学誘導と県

内定着により地域医療の確保を目的とする事業へのもの。今年6月1日現在、制度を活用しての県内医療機関への就職者数は127名で、年々増えており、定着している事業である。

除雪機待機への補償は？

Q 赤塚立平委員

除雪は雪が降れば出勤するが、そうでない場合は待機となりお金にならない。待機するにも出勤準備作業はしており、それなりの補償をしている自治体もあるが、三戸町ではどうか。

A 建設課長

各業者が集まる除雪会議や町民からの意見等うかがって考えていきたい。

ごみ分別のメリットは？

Q 栗谷川功委員

ビンの分別収集が始まったが、それにより処分料が安くなったというようなメリットがあるのか。

A 住民福祉課長

三戸、田子、南部で構成している組合で運営するクリーンセンター運営の負担金は人口とごみ収集実績で決定する。人口が多いのは南部町だがごみが一番多いのは三戸町。

ごみを減らすことで税金から支出している負担金も下がる、焼却施設の寿命も長くなる、ごみ処理コストも下がるといったメリットがある。

10月からのビン専用コンテナの導入で、29年度比2.7倍のビンがリサイクルできた。



リサイクル効果が見られたビン専用コンテナ

学校給食共同調理場
特別会計

給食滞納の内分けは？

Q 藤原文雄委員

74万2千円の滞納は、いつからの積みあげで何人分なのか？

A 教育委員会事務局長

平成19年から、13名分。既に卒業した方であり、継続して連絡を取って徴収したい。

下水道事業特別会計

加入率ほどのぐらいつ上昇したか？

Q 澤田道憲委員

下水道加入率の38.9%は、昨年度比でどのくらい増えたか。今後どのように目標達成を図るのか。

A 建設課長

29年度は37.5%で若干増えている。下水道の利点をPRして加入率を上げた。

介護保険特別会計

いきいき百歳体操の成果は？

Q 佐々木和志委員

平成30年度予算特別委員会で介護予防にさらに力を入れてほしいと意見を申し上げたが、百歳体操の成果をどのようにとらえているか。

A 健康推進課長

百歳体操により姿勢がよくなった、元気になったという声が聞かれるほか、交流が生まれるのも大きな効果である。

また、百歳体操を通いの場として健康教室なども開かれ、活動上有益になっている。



心身ともに効果が見られる百歳体操

久慈 聡 議員



Q1 町の農業産業への取り組みについて

農家が高齢化により資産を減らしている現状から、町が社会構造を作るための組織運営方針を立て、改革すべきであるが、町長が描く農業の将来像は。

A 松尾町長

農業を将来的に持続発展させるには、所得の安定と生産環境の整備が必要。農家の意向を踏まえ、経営拡大、農業生産法人や集落営農組織といった経営モデルへの誘導、さらにはスマート農業の導入による効率的な生産体制の確立、付加価値の高い加工品の製造などでブランド力を向上させ、発展に努めていきたい。

Q2

町の交通安全対策

近年、あおり運転や、高齢者の操作ミスなど、モラル低下や機能低下による問題が多く見られる。また、園児の列に車が追突するなど、歩行者にとって危険な状況が増える可能性もあり、抑止が必要だが、当町の交通安全対策は。

①通学路の交通安全対策の現行と今後に関して

A 松尾町長

交通安全および防犯上の危険箇所等を、聞き取りによって洗い出し、警察、役場の各担当課、学校関係者が現地確認し、関係機関が対応にあたっている。

②幼稚園等の散歩ルート確認と対策

A 松尾町長

散歩など園外保育をする際には、危険箇所を避けたルートを設定するとともに、通らざるを得ない場合には、引率職員を追加配置するなどの対策を行っている。

③町内危険箇所の調査と対策

A 松尾町長

町内会からの情報提供によりカーブミラーなどの安全設備を設置しているほか、交通安全母の会や交通整理員からも情報提供により横断歩道ストップマークや反射材の配布を行っている。近年はジャンプチームによる安全マップづくりをも行った。

④危険車両等への対策と取組みについて

A 松尾町長

三戸警察署では地域交通安全活動推進員による巡回、横断歩道での一時停止取り締りを強化しているほか、交通安全協会による啓発活動、学校へ交通指導隊員を派遣しての交通安全教室により交通ルール順守の啓発に取り組んでいる。

Q3

城山の観光戦略は

これまで、今後の城山公園の整備等について何度も質問したが、2年が過ぎ、着実に環境整備が行われ、発掘調査も進められてきていると感じるが、城山

公園の今後5年後、10年後のビジョン・観光戦略について、町長はどう考えているのか。

①春夏秋冬の観光について

A 松尾町長

発掘調査の成果により歴史的価値が高まれば、歴史観光による通年観光につながると期待している。

②発掘調査の今後の展望について

A 松尾町長

文化庁から今年度の発掘成果により、史跡指定の方向性を示すとの見解が出されている。今年度は本丸跡の発掘を行っており、9月下旬には概要がまとまる。

③今後のアクティビティ設置・イベント等について

A 松尾町長

春まつりのイベントに加え、熱気球搭乗体験などの会場となっている。今後も活発な利用の周知を行う。アクティビティは史跡指定を最優先し、その後国と協議して選定する。

④県立自然公園との共存について

A 松尾町長

県立自然公園の目的は、自然の保護とその利用増進による県民の休養のほか、生物多様性の確保に寄与することになっていることから、これを十分考慮し、未来へ引き継ぐ町のシンボルとして管理したい。

⑤桜や山吹の植栽について

A 松尾町長

発掘調査との連携により、植栽場所を計画したうえで、管理運営協議会の意見を伺い進めたい。

⑥景観整備について（売店の解体を町が行ったための交渉立案の進行状況は）

A 副町長

今年度中に結果を出します。

大向 信市 議員



Q1

町長の公約について

今回の補欠選挙で新しく10名の議員が加わった。新議員は選挙公報に掲載した政権に沿って頑張ると思う。

一方で町長も3年前の選挙時に出した公約について、現在の到達状況はどうなのか、また、新たな事業について何か考えているのか。

A 松尾町長

私が町長に就任するに当たり「さんのへ復活」を大きな目標に、10年、20年後の町を考え、今やるべきことを各分野に掲げた。

例えば、今年1月に町と民間

Q. 3年前の公約の達成状況は？

A. 各分野で取り組んでいる。引き続き最大の効果が発揮できよう取り組む。

が共同出資し、地域商社「サンノワ」を設立し、紅玉を原料とした「里山紅玉エール」という地ビールなどの「三戸精品」を開発した。

また、4月には三戸郵便局と包括連携協定を締結し、これまでの高齢者の安否や空き家情報提供、災害発生時協力体制に加えて、郵便局のネットワークを生かした三戸精品の販売促進を図るため、相互協力することになった。

さらには、町外部からの新しい力による活性化を目指し、8月に八戸学院大学、同短期大学と包括的連携協定を締結した。

この協定により、地域の課題解決に向け「地域活性化の研究」「人材育成および定住促進」「地場産業の振興」「健康増進とスポーツ振興」の4分野で協力をいただくことになった。

私が町長に就任して以来、新たな課題が発生しているのも事実であるが、新たな課題への取り組みや町の活性化のため、引き続き町民や議員の皆さんのご意見をうかがい、限られた予算で最大の効果が発揮できるように取り組んでいく。

再質問1

中央保育所閉所により待機児童が発生するのではないかと、う心配の声があるがどうか。

A 住民福祉課長

定員268人に対して、町外の子どもも含む全体の利用者は246人と、今現在待機児童は発生していない。

来年度中央保育所を閉所しても、3施設で請け負って定員、

利用者ともに228人ちょうどとなる見込みである。



中央保育所最後の児童たち

再質問2

学校給食の無償化の検討状況は。

A 松尾町長

現在3人目の子どもを無償化している。大きな財源が伴うので、予算に空きが見込めた際には進めたい。

再質問3

介護保険料は値上げではなく、払いやすいようにすべきと思うがどう考えているか。

A 松尾町長

県内の順位は下がっており、第8期についても、できるだけ抑えられるよう、やれることをやっていくしかない。

再質問4

三戸中央病院の整形外科が週2日の非常勤医師だが、具体的な算段はないのか。

A 松尾町長

隣町にあつて三戸にはないという勝ち負けでなく、地域での医療資源の確保も大切である。整形外科に関しては、現在弘前大学と調整中であり、引き続き医師確保に努める。



10月から毎日診療となった整形外科

栗谷川 功 議員



Q1 給食センターについて

給食センターの食中毒などの予防策、また万一の際の賠償責任保険への加入等の状況は。

A 友田教育長

予防で大切なのは、職員が感染していないことであり、月2回の検便や冬季のノロウイルス検査を全職員に実施中。万が一の救済措置は、学校や町で損害賠償保険等に加入しているほか、運搬業者も保険に加入しており、万全を期している。

Q2

三戸中央病院の運営

①へき地出張診療およびへき地巡回診療事業の内容と現状は。

A 病院事務長

へき地出張診療は、下田へき地出張診療事業の実施だったが、廃止に伴い現在はない。

巡回診療は今年、町内4地区7か所、計36回を計画し実施している。

②病院ホームページの情報が古く、常勤医などの欲しい情報もないが、更新状況は。

A 病院事務長

診療スケジュールと三病日より、採用情報はその都度更新。魅力発信や医師情報などは意見を聞きながら向上に努める。

③通院距離が長い患者や待ち時間の長い患者等にオンライン診療を導入してはどうか。

A 病院事務長

情報を収集し、研究する。

④待ち時間の短縮とオーダーリング・電子カルテシステムの運用状況は。

A 病院事務長

予約の調整を医師がするため、特定の日・時間に集中せず、待ち時間短縮につながっている。システムはことし3月に入院処方、検体検査、入院、食事を、7月に外来予約を開始している。現在は注射オーダーや電子カルテの導入を進めている。

⑤患者の前で看護職員等を叱責する横へいな医師がいると聞くが指導はしているのか。

A 病院事務長

医師の勤務態度は院長ほか他の医師により指導している。

Q3

小規模特任校制度の導入

①不登校児童生徒の保護者へは説明したか。

A 友田教育長

個別に説明を行っている。

②なぜ斗川児童館は対象外なのか。

A 友田教育長

小規模校教育を受けるための制度なので、小規模校の斗川小は対象外だが、相談があれば個別に応じる。

③すぐにも制度を利用したい対象者もいると思うができないのはなぜか。

A 友田教育長

杉沢小中には児童生徒がいない学年があり、新たに学級が増えたと県からの教員配置が受けられない場合があるため。緊急時には他の制度等で対応。

④三戸小中と杉沢小中職員の連携は。

A 友田教育長

日ごろから研修会等で情報交換している。学校間での連携

に万全を期す。

⑤文科省が、市町村教委へのコーディネータ配置によりフリースクール等への交通費や教材費を補助する方針を決めたと報道を見たが、これを小規模特任校制度へ運用できないか。

A 友田教育長

事業の詳細が明らかでないため情報収集に努め、保護者の負担が軽減できるよう制度の運用を図る。

Q4

公職選挙法について

公職選挙法について、どのようなことが違反にあたるのか町民に周知できないか。

A 松尾町長

イベント時のチラシ配布、ホームページの充実を図る。

Q5

役場のネットワークの管理について

①誰が管理し、どんな資格を持っているか。

A 松尾町長

一定の知識を有する職員を配置している。

②セキュリティ・不正侵入の有無等の現状は。

A 松尾町長

町独自の強靱化のほか県のセキュリティクラウドに参加し、二重三重の対策を講じており、不正侵入はない。

③ホームページの管理は誰が行っているか。

A 松尾町長

各課担当職員が作成し、担当課長、総務課長が確認のうえ、公開している。

④議会のライブ中継に向けて動きたいが、現在のハード、ソフト面での実施は可能か。

A 松尾町長

老朽化している議場の音響設備など、機器の更新も必要となるが、議員の皆さんで検討していただき、町も協議を進める。

Q6

職員の町民への対応

役場に相談に行くと調べもせず「聞いたことがない」「前例がない」と対応されると聞く。自分の身になって対応できないか。

A 松尾町長

不快な思いをさせたことをお詫びする。研修等により意識向上を図り、気持ちの良い住民サービスに努める。

栗谷川柳子 議員



Q1

町が策定する諸計画について

町では総合振興計画や過疎地域自立計画など、町の将来ビジョンを描いた諸計画があるが、これについて以下のとおり質問します。

①計画ではさまざまな分野ごとに現況と問題、対策が計画されているが、具体的な数値目標、進捗よく度数、年度ごとの成果をアウトロックスレポートの発行、ウェブサイト、町民説明会等で公表し、方向性を共有しているか。

A 松尾町長

第4次総合振興計画では、数

Q. 町の計画の達成状況を町民に公表し方向性を共有しているか？

A. 次期総合振興計画から実施するよう整備する。

値目標の設定がなかったため、年度ごとの成果は公表していません。

次年度からの第5次の計画では、目標を設定し、達成状況を公表することで町民と情報を共有したい。

②計画に掲げた施策の検証や評価を実施し、より効果的、戦略的な取り組みの企画立案や実効性の高い事業実施のために提言する、有識者による審議会等の仕組みはあるか。

A 松尾町長

総合振興計画では、ふるさとづくり審議会を設置し、総合振興計画を審議していただいている。

次期計画の策定にあたっても有識者に委員として参加いただく予定。

③事業ごとに、民間でいう決算報告等の財務に関わる資料を精

査し、目標を達成していない事業へ経営指導等を行っているか。



A 松尾町長

民間企業とは差異があるが、決算審査において、監査委員から事業ごとの決算状況について事業改善の助言を受けている。

能力を探りながら適切に支援する。

テレワーカー育成推進事業は、平成29年度から3か年で国の交付金を活用し、テレワーク人材の育成による雇用の促進を目的に、働き方の普及を図るセミナー等を開催している。

④補助事業について「まちの楽校運営事業」「テレワーカー育成推進事業」「地域商社への町の出資運営」などは補助額が多いが、活動内容や存在自体知らないという声もある。

計画書にある目的、概要、目標値と達成値、補助期間、更新の有無、補助金額と科目はどうなっているのか。

また事業を広報等で説明し、町民の理解や要望を得てはどうか。

A 松尾町長

まちの楽校は、平成21年以来、商店街活性化の拠点として、100円商店街、宅配事業などの事業のほか、保健師による健康教室、警察による特殊詐欺防止講座など多くの事業を行っている。

補助額は、30年度は前年度比5%減の570万円。今年度は前年度比3.5%減の550万円である。今後も自立運営の可

重要業績評価指標のKPIは3点で、テレワーカー雇用数5人の目標に80%の4人。テレワーカーへの業務発注事業所数4の目標に50%の2。お試しテレワーク誘致事業者数8の目標に125%の10事業者となった。

地域商社サンノワへの補助は、設立出資金1,020万円、運営費600万円で、運営費は会社の運営体制整備のための人件費や広告費である。

業績評価指標は設定していたが、冬季で加工品の原材料が確保できず、開発を次年度へ繰り越した。広報等を通じ、町民と情報を共有しながら実施していく。

山田 将之 議員



Q1

人口減少対策について

人口減少対策は三戸町にとっても最も重要な課題であり、何より優先して取り組まなければならないことであることから次にについて質問します。

①ついに人口1万人を切った状況で、町がこれまで取り組んできた対策の効果はあったのか。現時点での効果や手ごたえは。

A 松尾町長

平成28年度から、新築およびリフォーム、賃貸住宅の家賃補助、Uターン者への町奨学金返還金の交付などの事業を展開した。これらによる移住者は、平成

Q. 町の結婚・妊娠・出産子育てサポートは足りないのではないかと？

A. 安心できる子育て環境の充実のため今後も子育て支援に取り組む。

28年度12人、29年度32人、30年度が18人と、一定の成果を上げている。

また、転入転出による社会増減では、平成30年度がマイナスイナ63人と、平成9年以降で最少となったことも成果と認められる。

②三戸町は他の自治体に比べ、結婚、妊娠、出産、子育てに対するサポートが足りないという声、私も含め、若い世代から聞かれる。これに関し今後考えている事業はあるか。

A 松尾町長

三戸町では、保育料の平均を国の基準額の4割程度に安く設定している。また、中学生までの通院・入院費と、高校生の入院費を所得制限なしで給付して

いるほか、ひとり親家庭へは入学・卒業祝金を支給している。昨年からは町独自に子育てサポート祝金事業を実施し、子どもが3人以上いる世帯の負担を軽減している。

さらに今年10月からの国の幼児教育の無償化にともない、実費となった昼食のおかず代を町が負担することにし、斗川児童館の利用料も無償とする予定である。

総合福祉センターふくじゅそうではNPO法人により子育て支援拠点事業を実施しており、子育ての不安や問題を抱えることがないよう、母親の仲間づくりの場、また相談支援、イベント実施により楽しく安心の子育て支援を行っている。

③人口減少に伴い、どの産業でも高齢化や後継者不足、人手不

足が問題となっており、若者が定職につきやすい環境づくりが必要と考えるが、町ではこれに対して事業を行っているか、また今後の予定はあるか。

A 松尾町長

今年3月、町は厚生労働省青森労働局と雇用対策協定を締結し、町内事業者の人材確保について取り組むことにした。具体的には今後協議して進めていく。

再質問1

結婚に関する支援はあるか。

A まちづくり推進課長

八戸圏域連携中枢都市圏の圏域内自治体の連携事業の「縁結び支援協議会」によって、縁結び事業を実施しており、好評である。

町単独の開催では知り合いがいて参加しづらいという意見もあったので、こちらに参加していたかどうかイベントの活性化を図りたい。

再質問2

妊産婦の健康診断や新生児聴覚検査等への助成はあるか。

A 健康推進課長

産婦健診、聴覚検査ともに現在医療機関で受診してもらっている。

妊婦健診は町では14回無料で受診でき、乳児健診も3回無料となっている。さらには町独自で保健師による新生児訪問を全乳児を対象に実施している。

再質問3

秋まつりに乳児を連れて参加する家族もいるが、おむつ交換や授乳のスペースが欲しいという声が聞かれたが設置の考えはないか。

A 松尾町長

これまでは商店等に協力してもらっていたが、近年は難しくなった。どういう形で準備できるか、観光協会等と打ち合わせしたい。

千葉 有子 議員



Q1

中央保育所の廃止について

中央保育所の閉所について、子ども子育て会議等での議論や、施設での説明も重ねたにもかかわらず保護者から不安の声が聞こえる。もっと丁寧な説明が必要だったのではないかと考え、次の点について質問します。

①閉所に伴い、保護者や子供の希望になつた入所は可能か。

A 松尾町長

保護者説明会を開催し、希望上位の施設に入所できるよう配慮すると説明した。8月に個別面談も行い、希望施設、不安点などを伺っている。

Q. 保育施設の保健師の巡回はどのように行っているか？

A. 民間・公立問わず、施設の状況も考慮し定期的に実施している。

②跡地の活用にどんな構想があるか。

A 松尾町長

これまでの会議で、児童館としての活用が考えられる旨を説明したが、学校の空き教室での運営も検討しており、まだ具体的な利活用は決定していない。

③国の幼児教育無償化によつて軽減された経費で、新たな子育て支援事業を行う予定は。

A 松尾町長

10月から実費となる昼食のおかず代を、町が負担することにしたほか、斗川児童館の利用料も無料にし、町の3歳から5歳児の保育料を完全無償化する。

再質問1

子どもの安全・職員の安心のため専門職の配置が必要と思つたが、三戸町では看護師のいる施設はなく、今年度から町の保健師が巡回しているようだが、公立、民営に関わらずすべての幼児、児童施設への巡回なのか。

A 住民福祉課長

現在町内の保育所、認定こども園で看護師を配置しているのは民間で1か所パートがおり、公立はゼロ。保育する側、される側の安心のため設置したいが、希望者がなく、見つけられない状態である。

現在は、民間・公立保育所、認定こども園、児童館の全施設に、看護師資格を持つ保健師が巡回し、子どもの様子や保護者、保育士の相談を受け、対応を一緒に考えている。

Q2

放課後子どもプランの運営について

町の放課後対策事業にはさま

ざまあるが、その中の児童館について伺います。

①児童数増加への対応策はあるか。

A 松尾町長

利用者の増加に伴い、空き部屋を活用したり、学年ごとのクラス分けをし、複数の職員で支援するなど状況に応じ対応している。

②利用人数の増加や終了時間の延長に伴う、現場の職員、指導員の心身へのケア対策は。

A 松尾町長

町では正職員、臨時職員問わず、年1回健康診断を行い、必要に応じ町の産業医が個別に健康指導等行っている。

メンタルヘルスは外部委託により年1回ストレスチェックを実施し、高ストレスの場合、希望によ

り専門医の面談が受けられる。このほかにもプログラムがあり、精神面のケア体制を整えている。

③老人センターの老朽化に伴う、学校への児童館の設置の構想は。また、協議には現場の声の反映を。

A 松尾町長

子どもたちの安全と健やかな成長に配慮しながら、現在学校や教育委員会と協議中。

Q3

三戸町の人口減少に対する定住策について

定住人口の増加、特に若者の定住策について、具体的な施策の現状と将来の展望について伺います。

A 松尾町長

人口減少は自然増減、社会増減両方がマイナスとなつてることが要因で、進学等で若者が転出して帰ってこないため歯止めがかからない。

若者の定住対策として労働局と雇用対策協定を締結し、個々の環境の整備、などを進める。またITを活用したテレワークによる新規雇用を図る。

竹原 義人 議員

Q1
4月の県議会議員選挙について

県議会議員選挙を巡る選挙違反事件は県政・町政に大きな影響を与え、町民から議会への失望も広がった。町長はこの件にどのような見解をお持ちか。

A
松尾町長

一連の事件は、大変残念な結果であった。町長として重く受け止め、町民の不安、不信を払しょくするよう町政運営を行う。

Q2
町民の負託にどのように答えていくのか

①少子・超高齢化対策と地域づくりの施策

③少子高齢化への総合的な取り組みは。

A
松尾町長

少子化を遅らせるためには町民の仕事を確保し、安心して子供を産み育てられる環境が重要。新規雇用の創出や雇用の安定のための環境整備と子育てサポート事業の充実に努める。

⑥移住定住促進のため推進してきた具体策は。

A
松尾町長

住宅新築やリフォーム、賃貸住宅家賃補助、Uターン者への奨学金返還金への奨励金交付などで一定の成果を上げている。

⑨農業・商店街の現状と人材確保対策は。

A
松尾町長

農業は担い手不足と補助労働力の不足が見込まれており、後継者の育成定着と、労働力不足を補うスマート農業への取り組み、さらには農副連携や無料職業紹介事業に取り組む。

商店街は空き店舗が出る一方、新規出店も見られる。商店街対象の補助金の活用で商店街

を元気づけたい。また労働局との協定で町内事業者の人材確保支援策を協議したい。

④超高齢化に伴う認知症の現状と対策は。

A
松尾町長

町内の認知症者は721名で、高齢化が増加が予測されるため、認知症サポーターの養成や認知症初期集中支援推進事業などを実施している。一昨年には青森大学と連携した「いきいき脳健康教室」が好評。また地域の人びとが気軽に参加、相談できる「オレンジカフェ」も4か所開設し、地域の理解促進施策を重点的に推進する。

⑩町内会・老人クラブの現状と運営は。

A
松尾町長

町内会は加入世帯が減少傾向にあり、役員も硬直化している。課題も多く、この解決に必要な支援を迅速に行う。

老人クラブは21団体641人が参加。生きがい・健康づくりに取り組んでおり、まちづくりの原動力となっているため、持続できるよう支援する。

⑪団員数が減少している消防団活動の現状は。

A
松尾町長

団員数は現在前年度比11人減の437人。定員管理のため条例定数を削減したが、団員の尽力で活動への影響はない。

⑨シルバー人材センターの運営状況と支援は。

A
松尾町長

現在会員数は38名、昨年度の受注は198件、407万円。町は事務局人件費補助のほか、公園清掃業務など委託し、働く機会を確保している。

⑫高齢者や障害者が利用しやすい施設・道路整備の進捗よく状況と今後の計画は（特に国道104号沢田・豊川地区歩道）。

A
松尾町長

これまでも管理者である県に整備要望を行ってきた。引き続き要望活動を継続する。

⑫町長の公約に三戸中央病院の医師確保があり心強く思うが、状況と成果は。

A
松尾町長

町長就任以来、月2回のメンタルヘルス科、月1回の脳神経外科、三戸地方出身小児科医による週1回の診察日増を図った。今後も医師確保に努める。

⑬公共交通の利便性確保のため、三戸・田子・南部3町を繋ぎ、三戸をハブ化するとの公約の達成度は。またイベントに合わせた臨時路線、ダイヤ編成はできないか。

A
松尾町長

三戸営業所やなどの幹線沿いのバス停は、路線バスとコミュニティバスの結節点となっている。ここの乗り継ぎ環境の改善で交通の利便が高まる。

臨時路線や特別ダイヤは有意義であるが、コミュニティバスは届出路線変更にはバス会社と運輸局との協議が必要となる。貸切バスや町のバスを利用したシャトルバスもあるので検討したい。

佐々木和志 議員



Q1

子育て世代の住環境整備について

若年層対象の町営住宅建設や安価な宅地分譲など、住環境整備は子育て世代の定住を促進させ、人口減少や高齢化と言った課題の解消につながるものである。

町営住宅の整備計画や学校跡地の活用も含め、今後どのように取り組むのか。

A 松尾町長

町では住宅確保支援として、新築、中古住宅取得費、リフォームおよび賃貸住宅家賃に助成をし、また空き家バンクで空き家情報を発信しているほか、利用のない町有地の売却も行っている。

Q. 若年世代の住環境整備を考えているか？

A. 官民一体の公共サービス導入を検討中である。

町営住宅の整備には、民間のノウハウを活用したPPP、PFI方式など、官民一体となった公共サービスの提供についての可能性を検討している。

再質問1

雇用、子育て環境、住環境の充実があつて初めて若者が住むようになる。

新郷村では村が建設した住宅に20年住めば差し上げる。南部町では安価な宅地分譲をしている中、三戸では補助を出すだけで、平成29年度以降事業が変わっていない。

住環境について令和2年度以降新しい事業は検討しているか。

A 建設課長

公営住宅はさまざまな年代の方、また住宅に困っている方への提供という目的がある。町で

Q2

未婚率の改善について

は古い住宅が傾斜地等に分散しているので、集約して利便性の高い住宅にしなければならぬ。そのためにも青森県初となるPPP、PFIに関する導入推進事業を検討している。

結婚に対する意識の変化で、未婚率の増加が社会問題となっている。

本町においても未婚率は増加傾向にあり、人口減少に影響を与えていると思われることから、町としてこれに取り組む必要があると考えるがどうか。

A 松尾町長

未婚率の改善に広域的に取り

組むため、八戸圏域連携中枢都市圏の連携事業で婚活イベントを実施しており、参加者が定員を大きく超えるなど好評である。そのほか、他市町村での婚活イベントの周知や、継続的な交流の場の提供について関係団体へ働きかけたい。

再質問1

婚活イベントなどで、突然知らない人と話すのは苦手な人もいる。このような人向けに結婚相談員などの取り組みはできないか。また女性が働ける雇用の場に特化した取り組みも考えてはどうか。

A まちづくり推進課長

町独自で、結婚希望者の登録制による情報提供サービスなど考えたい。

Q3

町道改良について

町道府金線は、国道4号線改良工事完成後に大幅な交通量の増加が見込まれるが、県道接続部の拡幅改良が一向に進まない状況にある。

歩行者の保護や冬季の車両通行等の安全確保のため、早急な改善が必要と考えるが、今後の対応はどうなっているか。

A 松尾町長

国道4号下比良地区道路改良事業は、国道、町道双方からの右折が可能になるなどアクセスの向上が期待され、これに伴い町道の交通量の増加が見込まれることから、県道接続部拡幅未整備区間の改良事業は、交通安全対策が確実に実現するよう取り組む。

再質問1

地権者との交渉がどうにもならない場合は別な方法を考える、積算すると答弁をもらってから十数年たっている。当初の方法が込められないなら別な方法を考えられないのか再度伺います。

A 建設課長

別の方法では六千万円以上かかるとの概算である。歩行者の安全のため線形の変更など違うやり方も考えて進めていかなければならないと考えている。

9月議会で審議された議案と議決結果一覧

議案番号	件 名	議決月日	議決結果
報告 第 11 号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告について 【概要】平成 30 年度決算において、実質赤字比率、連結実質赤字比率ともに赤字はなし。実質公債費比率は 10.3% で 0.5 ポイント改善。将来負担比率は 72% で 14 ポイント改善。		報告済 (9月4日)
議案 第 50 号	地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について 【概要】来年度から臨時、非常勤職員制度に代わり、会計年度任用職員制度が導入されることに伴う条例の改廃。	9月11日	原案可決
議案 第 51 号	三戸町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例案 【概要】政令の交付に伴い、マイナンバーカード等へ旧姓の記載が可能となったため、条例の一部を改正。	9月11日	原案可決
議案 第 52 号	三戸町運動場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案 【概要】町民運動場の土地を警察署用地として県へ譲渡するため条例の一部を改正。	9月11日	原案可決
議案 第 53 号	さんのへパークゴルフ場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案 【概要】パークゴルフ場の管理を、指定管理者ができるよう条例の一部を改正。	9月11日	原案可決
議案 第 54 号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例案 【概要】法律の公布に伴い、災害援護資金を受けている人の状況により支払い猶予や償還免除の範囲拡大、審査委員会の設置を規定した条例へ改正。	9月11日	原案可決
議案 第 55 号	三戸町簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例案 【概要】政令の交付により旧施行令の第 4 条が第 6 条となったため、条例も合わせて改正。	9月11日	原案可決
議案 第 56 号	三戸町消防団の設置及び定員、任免服務等に関する条例の一部を改正する条例案 【概要】成年被後見人等が消防団員になれない規定を削除するなどの改正。	9月11日	原案可決
議案 第 57 号	三戸町立児童館利用料徴収条例を廃止する条例の制定について 【概要】法律の施行に伴い 10 月から幼稚園、保育園、認定こども園を利用する 3 歳から 5 歳児の全世帯と、0 歳から 2 歳児の住民税非課税世帯の利用料が無料となるのに伴い、斗川児童館の利用料も無償に。	9月11日	原案可決
議案 第 58 号	財産取得について 【概要】消防団第 6 分団に配備する消防ポンプ車一台を 2,260 万円で購入。	9月11日	原案可決
議案 第 59 号	三戸町過疎地域自立促進計画の変更について 【概要】三戸町過疎地域自立促進計画内の計画に「老人センタートイレ改修事業」を追加。	9月11日	原案可決
議案 第 60 号	令和元年度三戸町一般会計補正予算（第 3 号） 【概要】ふるさと三戸応援基金積立金、産地パワーアップ事業費補助金、新葬祭場建設負担金への支出などに伴い、歳入歳出ともに 1,769 万円を増額。	9月11日	原案可決
議案 第 61 号	令和元年度三戸町下水道事業特別会計補正予算（第 1 号） 【概要】管理費の増額などに伴い、歳入歳出ともに 40 万円を増額。	9月11日	原案可決
議案 第 62 号	令和元年度三戸町介護保険特別会計補正予算（第 1 号） 【概要】繰越金の増加や過年度負担金返還金の増額に伴い、歳入歳出ともに 6,034 万円を増額。	9月11日	原案可決
議案 第 63 号	令和元年度三戸町国民健康保険直診勘定三戸中央病院事業特別会計補正予算(第 2 号) 【概要】空調設備修繕や看護師の派遣委託料等の増に伴い収益的支出予算を 5,455 万円増額。	9月11日	原案可決

案議 議審

パークゴルフ場を 指定管理可能に

■議案第53号

さんのへパークゴルフ場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案

【提案理由】

パークゴルフ場の管理を地方自治法に規定する指定管理者により行うことができるよう、所要の規定を整備するもの。

Q. 佐々木和志議員

この条例の改正により、財政上の負担は増えるのか、具体的な数字はあるか。

A. 教育委員会事務局長

これから指定管理者の募集に際し、事業計画や収支予算を提案してもらい、最適な業者を議会へ提案する。明確な事業費の削減は見えないが、

これまで以下になるように進めたい。

■議案第63号

令和元年度三戸町国民健康保険直診勘定三戸中央病院事業特別会計補正予算（第2号）

【提案理由】

老朽化した空調設備等の修繕や人員確保のための医療技術者の紹介を行う事業者から人材派遣を受けるための委託料などが必要となったことから、病院事業費用の既決予算額に5455万円を追加し、予算総額を18億2134万円に増額補正するもの。

Q. 佐々木和志議員

要するに看護師不足のための措置か。また次年度も同じような措置をとる可能性があるのか。

A. 三戸中央病院事務局長

平成30年度初めは看護師、准看護師、介護福祉士、看護助手の4職種86名いたのが、退職により82名に減員しているほか、さまざまな理由で退職や休暇を取得している職員がいる中、採用募集しても応募につながらず、医療体制の維持のため派遣を導入した。

Q. 久慈聡議員

正職員が採用されれば、派遣はやめるのか、また修繕についてはどのように使うのか。

A. 三戸中央病院事務局長

正職員が補充されれば派遣は終わりとなる。

修繕は、開放型冷却塔、密閉型冷却塔の部品交換、熱量演算器の修繕等が新たに発覚し、修繕費が不足したため計上したもの。

第482回三戸町議会臨時議会（8月9日）

8月9日、補欠選挙後最初の議会となる第482回三戸町議会臨時議会が開催されました。

会議では議員辞職に伴って不在となっていた常任委員や一部事務組合議会議員の選出などの人事案件（16ページ参照）のほか、三戸町議会議員が二度と不祥事を起こすことがないよう、全議員により「公職選挙法の順守に関する決議案」が提出され、栗谷川柳子議員が提案理由を説明し、可決されました（表紙参照）。

そのほか、7月の補欠選挙から実施された選挙公報の発行に関する条例が専決処分となっていたことからこれを承認し、不在となっていた議会から選出される町の監査委員に久慈聡議員が選任されました。

◆議員選出監査委員



久慈 聡 議員

8月臨時議会で審議された議案と議決結果

議案番号	件 名	議決結果
議員提案第3号	公職選挙法の順守に関する決議案	原案可決
報告第9号	専決処分した事項の報告及びその承認を求めることについて（三戸町の議会議員及び長の選挙における選挙公報の発行に関する条例）	原案承認
報告第10号	専決処分した事項の報告及びその承認を求めることについて（令和元年度三戸町一般会計補正予算（第2号））	原案承認
議案第49号	三戸町監査委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意

所属委員会等人事

8月9日の臨時議会において、議員が所属する委員会や一部事務組合議会議員が新たに決まりました。
(太字が新たな委員)

●総務文教常任委員会

委員長 竹原義人 議員
副委員長 千葉有子 議員
委員 栗谷川功 議員
中野 孝 議員
佐々木和志 議員

●民生商工常任委員会

委員長 大向信市 議員
副委員長 赤塚立平 議員
委員 栗谷川柳子 議員
高森正義 議員
澤田道憲 議員

●建設農林常任委員会

委員長 久慈 聡 議員
副委員長 番屋博光 議員
委員 山田将之 議員
藤原文雄 議員

●議会運営委員会

委員長 大向信市 議員
副委員長 久慈 聡 議員
委員 山田将之 議員
栗谷川柳子 議員
藤原文雄 議員
竹原義人 議員

●広報編集委員会

委員長 竹原義人 議員
副委員長 赤塚立平 議員
委員 久慈 聡 議員
大向信市 議員
佐々木和志 議員
澤田道憲 議員

●図書運営委員会

委員長 大向信市 議員
委員 山田将之 議員
栗谷川柳子 議員
藤原文雄 議員
久慈 聡 議員

◆新たに一部事務組合議会議員になった議員

○三戸地区環境整備事務組合議会議員
藤原文雄 議員
中野 孝 議員

○八戸地域広域市町村圏事務組合議会議員
赤塚立平 議員

○田子高原広域事務組合議会議員
番屋博光 議員

第485回三戸町議会定例会（12月議会）予定（全日10:00開始）

12月6日(金)	開会、町長による提案理由の説明
12月7日(土)、8日(日)	休日により休会
12月9日(月)	議案熟考のため休会
12月10日(火)	一般質問(議員が町長などへ町政全般にわたって質問します)
12月11日(水)	一般質問、議案審議・採決(条例制定や補正予算など審査)、閉会

編集後記



先日、町制施行百三十周年記念式典が盛大に挙行されました。町の輝かしい歴史を振り返り、大きな節目を町民の皆さまとともにお祝いすることができたことは、まことに感無量でありました。

一方で、町の課題として、人口減少や高齢化が急速に進行する現実にも直面しております。これには議員の責務を果たすため、地域住民の思いを十分に考えて真剣に取り組まなければと考えております。

いま議会では、議会報告会の開催も検討しながら、わかりやすく開かれた議会運営を心がけ、議員一同がんばっておりますので、議会へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

(広報委員長 竹原義人)

議会広報編集委員会

委員長 竹原義人
副委員長 赤塚立平
委員 久慈 聡
大向信市
佐々木和志
澤田道憲